［募集代理店］ 株式会社三菱UFJ銀行

投資型年金保険
メソッドTM

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜自由選択コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンド（特別勘定）で運用します。ファンド（特別勘定）の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●受取総額が基本保険金額（一時払保険料相当額）を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンド（特別勘定）の運用にかかわる費用です。主にファンド（特別勘定）が投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.233%（税抜1.121%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。お客さまにご負担いただく手数料には信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかります。これらは、取引量等により金額が変わるため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法、合計額等を記載することが困難であり表示することができません。また、これらの費用は基準価格に反映されるため、間接的にお客さまが負担することになります。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の全部解約・一部解約をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額＊の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
＊解約控除対象額は、全部解約の場合は基本保険金額（一時払保険料相当額）、一部解約の場合は一部解約請求額と基本保険金額（一時払保険料相当額）のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
※この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-046

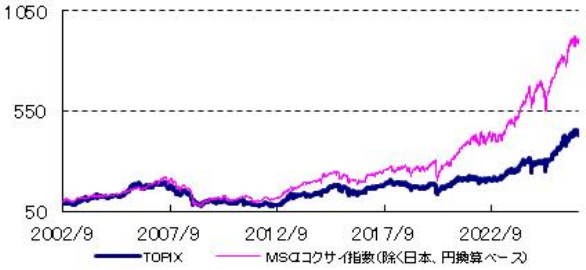
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

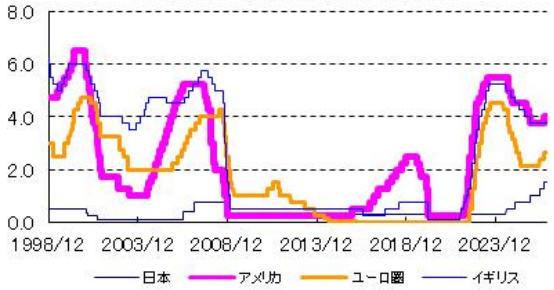


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
日本株式 TM	●				三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.5%	3.5%	5,485
日本債券 TM			●		三菱UFJ 日本債券ファンドVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.5%	2.5%	56
外国株式 TM		●			三菱UFJ 外国株式ファンドVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.7%	3.3%	2,285
外国債券 TM				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	443
バランス20 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV20VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.9%	3.1%	129
バランス40 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV40VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.7%	3.3%	326
バランス80 TM	●	●	●	●	三菱UFJ MV80VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.1%	3.9%	374
マネー MA			●		三菱 MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	224

＊適格機関投資家限定で設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA＊	主に東京証券取引所に上場する株式に投資し、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 日本債券ファンドVA＊	主に日本の公社債に投資し、NOMURA-BPI総合指数（NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合指数）に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 外国株式ファンドVA＊	主に日本を除く世界主要国の株式に投資し、MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 外国債券ファンドVA＊	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ MV20VA＊ 三菱UFJ MV40VA＊ 三菱UFJ MV80VA＊	主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得を目指します。 〈合成ベンチマーク〉
三菱 MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

〈合成ベンチマーク〉

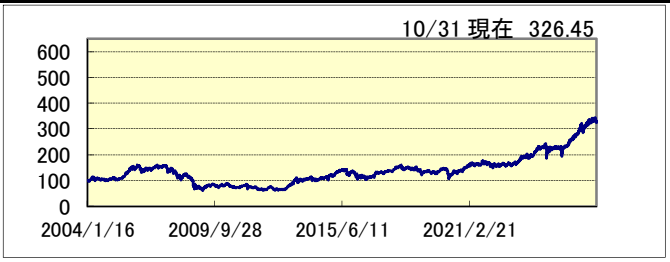
資産区分	日本株式	外国株式	日本債券・短期金融資産	外国債券（為替ヘッジあり）	外国債券（為替ヘッジなし）
指数	配当込みTOPIX	MSCIコクサイインデックス（除く日本、円換算ベース配当込み）	NOMURA-BPI総合指数（短期金融資産（有担保コール翌日物）1%を含む）	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
三菱UFJ MV20VA	15%	5%	40%	35%	5%
三菱UFJ MV40VA	30%	10%	30%	25%	5%
三菱UFJ MV80VA	55%	25%	10%	5%	5%

＊適格機関投資家限定で設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

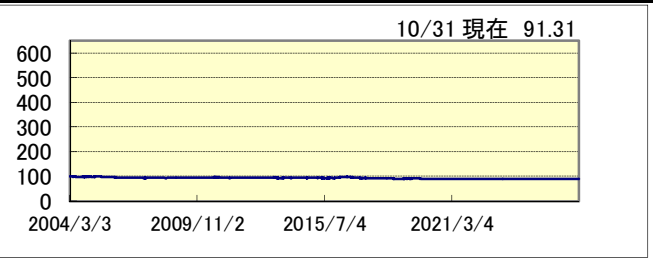
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式 TM



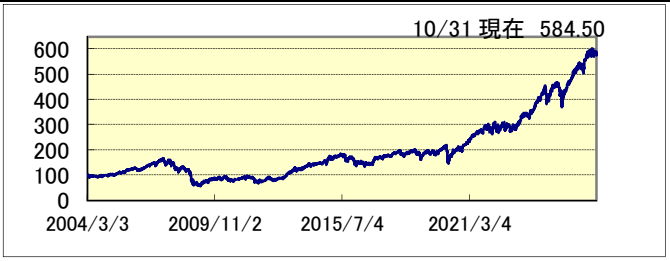
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−3.61%	−0.68%	5.93%	17.85%	71.68%	226.45%

日本債券 TM



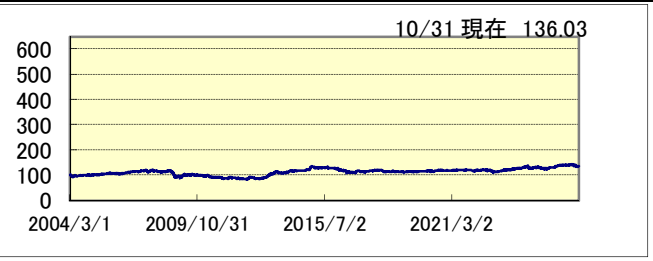
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	−8.69%

外国株式 TM



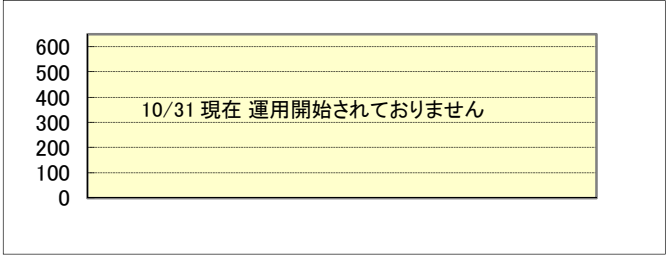
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.65%	−0.03%	4.49%	13.10%	79.12%	484.50%

外国債券 TM



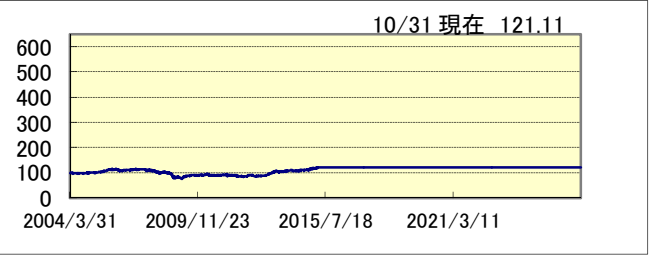
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.15%	−3.60%	−4.14%	−0.85%	12.26%	36.03%

バランス20 TM



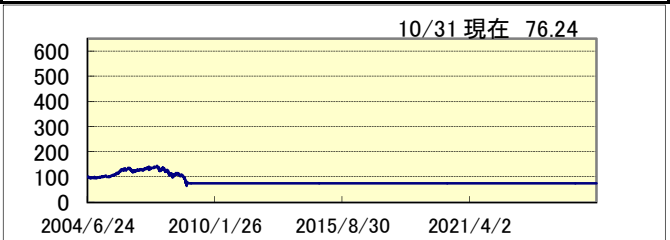
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	ー	ー	ー	ー	ー	ー

バランス40 TM



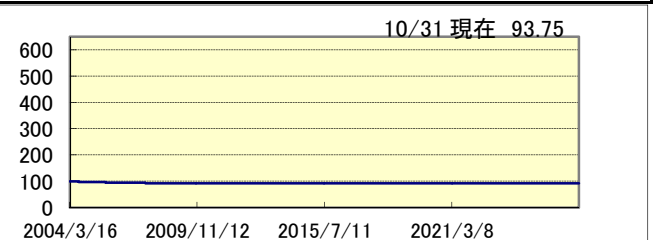
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	21.11%

バランス80 TM



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	−23.76%

マネー MA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	−6.25%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ トピックスインデックスファンドVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
東京証券取引所に上場する株式。主にTOPIXマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

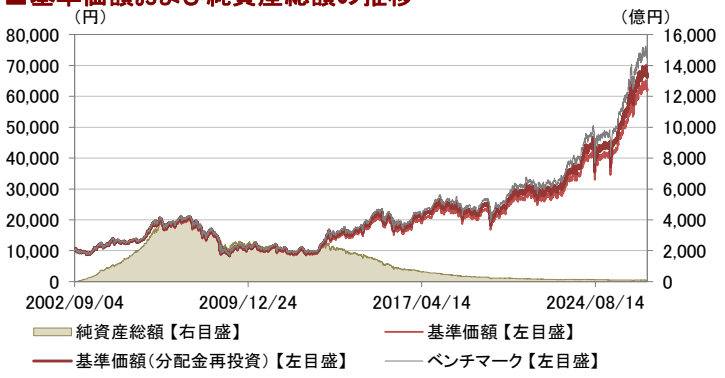
運　用　方　針
主に東京証券取引所に上場する株式に投資し、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動する投資成果の獲得を目指します。

■商品概要

三菱UFJトピックスインデックスファンドVA(適格機関投資家限定)

主要投資対象	TOPIXマザーファンド受益証券（日本の株式に直接投資することもあります。）
運用方針	①TOPIXマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②TOPIXマザーファンドは、日本の株式を主要投資対象とします。 ③主にTOPIXマザーファンド受益証券に投資しますが、日本の株式に直接投資することもあります。 ④株式以外への資産の投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2019年10月1日に当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	61,806円
前月末比	−2,253円
純資産総額	80.12億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第24期	2026/02/20	0円
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
設定来累計		1,000円

■騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.5%	−0.1%	7.3%	21.2%	86.6%	563.0%
ベンチマーク	−3.5%	−0.0%	7.5%	21.7%	88.8%	623.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内　現物	98.8%
内　先物	1.2%
コールローン他	0.0%

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	19.8%	20.1%
2	銀行業	11.8%	12.0%
3	卸売業	7.6%	7.7%
4	情報・通信業	6.3%	6.4%
5	機械	5.2%	5.3%
6	輸送用機器	5.1%	5.2%
7	サービス業	4.8%	4.9%
8	化学	4.5%	4.6%
9	小売業	3.9%	4.0%
10	保険業	3.8%	3.8%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,668銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%	3.8%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%	2.7%
3	リクルートホールディングス	サービス業	2.6%	2.6%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.4%	2.4%
5	ソニーグループ	電気機器	2.3%	2.3%
6	日立製作所	電気機器	2.3%	2.3%
7	アドバンテスト	電気機器	2.0%	2.0%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.8%	1.9%
9	東京エレクトロン	電気機器	1.7%	1.8%
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.5%	1.5%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本債券 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の公社債。主に日本債券インデックスマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

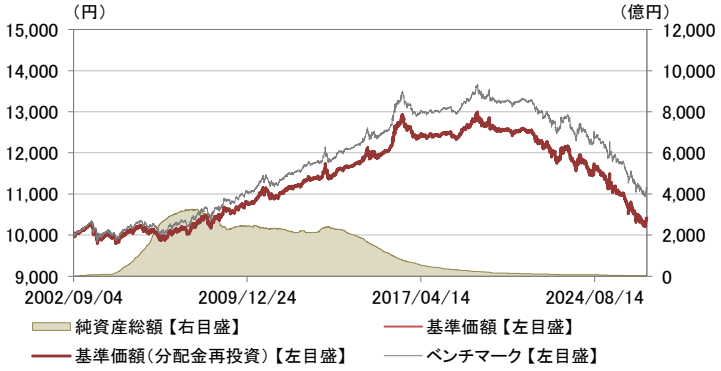
運　用　方　針
主に日本の公社債に投資し、NOMURA-BPI総合指数（NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合指数）に連動する投資成果の獲得を目指します。

三菱UFJ 日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

■商品概要

主要投資対象	日本債券インデックスマザーファンド受益証券（日本の公社債に直接投資することもあります。）
運用方針	①日本債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク（NOMURA―BPI総合指数）に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②日本債券インデックスマザーファンドは、日本の公社債を主要投資対象とします。 ③日本の公社債に直接投資することもできます。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.7%	0.4%	−0.8%	−5.5%	−10.0%	4.1%
ベンチマーク	1.8%	0.5%	−0.7%	−5.2%	−9.2%	11.7%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■種別組入比率

種別	比率
国債	83.7%
地方債	5.8%
政府保証債	1.3%
金融債	0.2%
事業債	7.2%
円建外債	0.2%
MBS	0.9%
ABS	0.0%

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	10,404円
前月末比	+178円
純資産総額	29.65億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第24期	2026/02/20	0円
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
設定来累計		10円

■資産構成

	比率
実質国内債券	99.5%
内　現物	99.4%
内　先物	0.1%
コールローン他	0.5%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	2.6%
直接利回り	1.2%
デュレーション	7.5

■残存期間別組入比率

残存期間	比率	ベンチマーク構成比
3年未満	23.2%	23.0%
3～7年	30.5%	31.0%
7～11年	19.3%	18.9%
11年超	26.5%	27.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,160銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第163回利付国債（5年）	国債	0.4000%	2028/09/20	1.4%
2	第166回利付国債（5年）	国債	0.4000%	2028/12/20	1.2%
3	第172回利付国債（5年）	国債	0.5000%	2029/06/20	1.2%
4	第178回利付国債（5年）	国債	1.0000%	2030/03/20	1.1%
5	第373回利付国債（10年）	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%
6	第174回利付国債（5年）	国債	0.7000%	2029/09/20	1.1%
7	第381回利付国債（10年）	国債	2.1000%	2035/12/20	1.1%
8	第376回利付国債（10年）	国債	0.9000%	2034/09/20	1.1%
9	第369回利付国債（10年）	国債	0.5000%	2032/12/20	1.0%
10	第378回利付国債（10年）	国債	1.4000%	2035/03/20	1.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA－BPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国株式 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本を除く世界主要国の株式。主に外国株式インデックスマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本を除く世界主要国の株式に投資し、MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。

三菱UFJ 外国株式ファンドVA（適格機関投資家限定）

■商品概要

主要投資対象	外国株式インデックスマザーファンド受益証券（外国の株式に直接投資することもあります。）
運用方針	①外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行います。 ②外国株式インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の株式に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	117,196円
前月末比	+977円
純資産総額	47.99億円

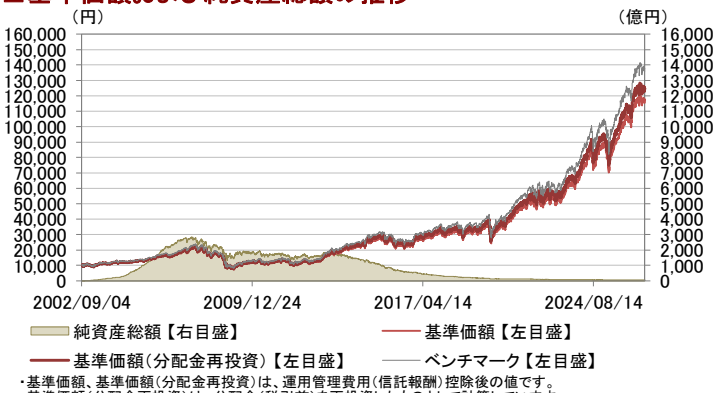
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第24期	2026/02/20	0円
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.0%
内　現物	99.1%
内　先物	0.9%
コールローン他	−0.0%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2019年10月1日に当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.8%	0.5%	5.7%	15.9%	95.0%	1146.4%
ベンチマーク	0.8%	0.6%	5.8%	16.2%	96.8%	1275.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10ヵ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	77.0%
2 イギリス	3.6%
3 カナダ	3.6%
4 スイス	2.4%
5 フランス	2.3%
6 ドイツ	2.2%
7 オーストラリア	1.6%
8 オランダ	1.3%
9 スペイン	0.9%
10 イタリア	0.8%

■組入上位10業種

業種	比率
1 半導体・半導体製造装置	13.7%
2 ソフトウェア・サービス	8.8%
3 テクノロジ・ハードウェア・機器	8.7%
4 資本財	7.5%
5 医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.4%
6 銀行	6.7%
7 金融サービス	6.3%
8 メディア・娯楽	6.0%
9 エネルギー	4.6%
10 一般消費財・サービス流通・小売り	4.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,081銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.9%	6.0%
2 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.7%	5.7%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3%	4.4%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%	2.8%
5 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.8%	1.8%
6 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.9%
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%	1.5%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%	1.6%
9 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.3%	1.3%
10 ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.3%	1.3%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard（"GICS"）は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に外国債券インデックスマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

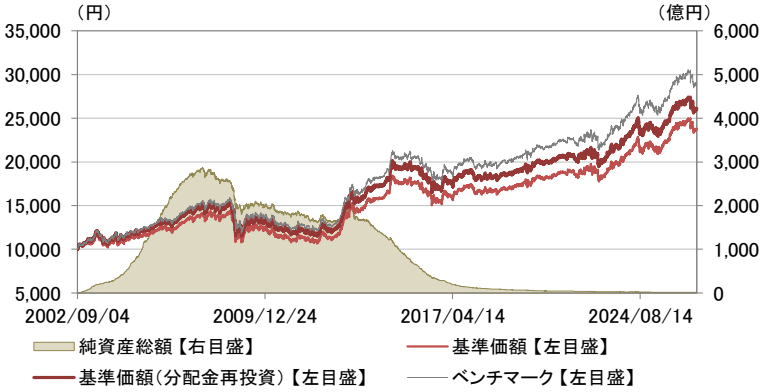
主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動する投資成果の獲得を目指します。

三菱UFJ 外国債券ファンドVA（適格機関投資家限定）

■商品概要

主要投資対象	外国債券インデックスマザーファンド受益証券（外国の公社債に直接投資することもあります。）
運用方針	①外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））に連動する投資成果を目指して運用を行います。2021年11月末基準より外国債券部分に係るベンチマークをFTSE Fixed Income LLCより提供されている円ベースの指数から当社で円換算した指数に変更しました。 ②外国債券インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年9月4日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.4%	−3.1%	−3.2%	1.3%	20.5%	161.1%
ベンチマーク	1.3%	−3.1%	−3.2%	1.7%	21.9%	190.6%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	23,802円
前月末比	+321円
純資産総額	13.19億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第24期	2026/02/20	0円
第23期	2025/02/20	0円
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
設定来累計		1,150円

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.3%
内　現物	99.3%
内　先物	0.0%
コールローン他	0.7%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	4.1%
直接利回り	3.2%
デュレーション	6.0

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	1.4%
1～3年	28.8%
3～5年	20.1%
5～7年	13.0%
7～10年	14.1%
10年以上	21.9%

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	44.6%
2	中国	13.2%
3	フランス	6.5%
4	イタリア	6.0%
5	イギリス	5.7%
6	ドイツ	5.4%
7	スペイン	3.9%
8	カナダ	2.1%
9	韓国	1.9%
10	ベルギー	1.4%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,080銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1	0.875 T-NOTE 301115	国債	0.8750%	2030/11/15	アメリカ	0.8%
2	2.75 T-NOTE 320815	国債	2.7500%	2032/08/15	アメリカ	0.7%
3	0.625 T-NOTE 300815	国債	0.6250%	2030/08/15	アメリカ	0.7%
4	4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.6%
5	1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.6%
6	2.375 T-NOTE 290515	国債	2.3750%	2029/05/15	アメリカ	0.6%
7	5.375 T-BOND 310215	国債	5.3750%	2031/02/15	アメリカ	0.6%
8	0.625 T-NOTE 300515	国債	0.6250%	2030/05/15	アメリカ	0.6%
9	1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.6%
10	2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.5%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本）・データに基づき委託会社が計算したものです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
バランス20／40／80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MV20VA ／ 三菱UFJ MV40VA ／ 三菱UFJ MV80VA
（適格機関投資家限定）
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

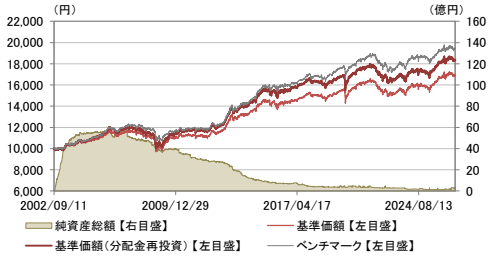
主要投資対象
日本を含む世界各国の株式及び公社債（これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券（以下、「投資信託証券」といいます。）。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

■商品概要
三菱UFJ MV20VA・三菱UFJ MV40VA・三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）は、2002年9月11日に設定され（信託期間：無期限）、日本を含む世界各国の株式および公社債（これらを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、リスクの軽減に努めつつ中長期的に着実な成長をめざす追加型証券投資信託（ファンド・オブ・ファンズ）です。

三菱UFJ MV20VA（適格機関投資家限定）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX15%、MSCIコクサイ　インデックス（除く日本　円換算ベース　配当込み）5%、NOMURA－BPI総合指数39%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）35%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.8%	−0.5%	−0.1%	1.1%	12.5%	83.8%
ベンチマーク	1.0%	0.0%	0.2%	1.0%	11.4%	94.8%

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	16,922円
前月末比	+134円
純資産総額	1.54億円
前月末比	−0.76億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

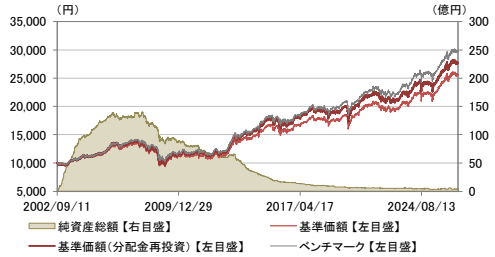
決算期	決算日	分配金
第24期	2025/12/12	0円
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
日本株式	15.1%
日本債券	38.9%
外国株式	5.0%
外国債券（為替ヘッジあり）	35.1%
外国債券（為替ヘッジなし）	5.0%
コールローン他	1.0%

三菱UFJ MV40VA（適格機関投資家限定）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX30%、MSCIコクサイ　インデックス（除く日本　円換算ベース　配当込み）10%、NOMURA－BPI総合指数29%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）25%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.6%	−0.1%	1.4%	5.6%	27.6%	176.8%
ベンチマーク	0.6%	0.5%	1.9%	6.1%	28.7%	197.5%

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	25,603円
前月末比	+150円
純資産総額	3.69億円
前月末比	−0.73億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

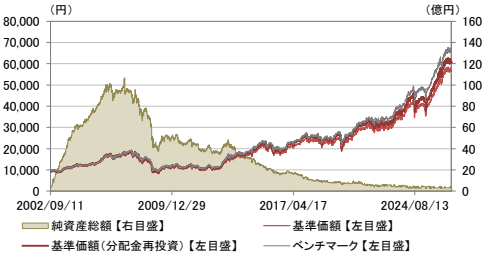
決算期	決算日	分配金
第24期	2025/12/12	0円
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
日本株式	30.0%
日本債券	28.9%
外国株式	10.0%
外国債券（為替ヘッジあり）	24.9%
外国債券（為替ヘッジなし）	5.0%
コールローン他	1.2%

三菱UFJ MV80VA（適格機関投資家限定）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、配当込みTOPIX55%、MSCIコクサイ　インデックス（除く日本　円換算ベース　配当込み）25%、NOMURA－BPI総合指数9%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）5%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）5%、有担保コールレート翌日物1%で組み合わせた指数です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.1%	0.6%	4.5%	18.7%	68.6%	508.0%
ベンチマーク	−0.0%	1.2%	5.1%	16.5%	71.1%	558.4%

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	56,759円
前月末比	+54円
純資産総額	4.83億円
前月末比	+0.65億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第24期	2025/12/12	0円
第23期	2024/12/12	0円
第22期	2023/12/12	0円
第21期	2022/12/12	0円
第20期	2021/12/13	0円
第19期	2020/12/14	0円
設定来累計		1,000円

■資産構成

	比率
日本株式	55.0%
日本債券	8.9%
外国株式	25.0%
外国債券（為替ヘッジあり）	5.0%
外国債券（為替ヘッジなし）	4.9%
コールローン他	1.2%

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
バランス20／40／80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MV20VA / 三菱UFJ MV40VA / 三菱UFJ MV80VA
（適格機関投資家限定）
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債（これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券（以下、「投資信託証券」といいます。）。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

【市場の動き】

10月の海外株式相場は全体では下落しました。米国では、9月の非農業部門雇用者数は前月比2万9千人増となり、失業率は4.2%となりました。9月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比3.7%上昇しました。欧州では、9月のユーロ圏の消費者物価指数（HICP）の速報値は前年同月比3.8%上昇し、10月のドイツのIFO企業景況感指数は前月比で上昇しました。こうした環境下、米国では、月前半は米長期金利の低下や主要企業の好決算への期待を背景に上昇する場面が見られたものの、原油価格の上昇やインフレ懸念の高まり等が上値を抑えました。後半は、好調な企業決算を好感して上昇する局面もありましたが、人工知能（AI）投資の収益性への懸念等から下落して最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。欧州では、前半はフランスの財政への懸念等から下落しました。後半は、原油価格の上昇一服や大手企業の好業績等を好感して上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。
国内株式相場も下落しました。前半は、米国株高、円安等を背景に上昇しました。後半は、米国株安となるなか、AI投資の収益性への懸念からAI・半導体関連株等が下落して、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。
海外債券相場は上昇しました。前月末に5.2%台であった米国10年物国債利回りは、米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利が据え置かれるとの見通し、世界的に株式相場が下落して投資家のリスク回避姿勢が強まったこと等から低下して、最終的に4.9%台で月を終えました。前月末に3.5%台であったドイツ10年物国債利回りは、フランスの財政懸念や株式相場の下落等を背景にリスク回避姿勢が強まるなか、ドイツ国債等がより安全な資産として選好されたことから低下し、最終的に3.3%台で月を終えました。
国内債券相場も上昇しました。前月末に3.0%台であった10年物国債利回りは、米長期金利の低下、国内外の株式相場の下落を背景とした投資家のリスク回避姿勢の高まり等を受けて低下し、最終的に2.7%台で月を終えました。
為替市場では、米ドルが月初に日銀の追加利上げに対する慎重な姿勢や日米金利差等を背景に上昇しましたが、その後は当局の為替介入への警戒感等から米ドル高の動きは限定的となりました。ユーロはフランスの財政悪化懸念や欧州の政治的不透明感等を背景に軟調となりました。米ドル／円相場は0.2%の円安、ユーロ／円相場は1.5%の円高となりました。

【ラッセル・インベストメント グループ】

ラッセル・インベストメント グループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に、グローバルに総合的な資産運用ソリューションを提供しています。
グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理など幅広く業務を行っており、現在当グループの運用資産総額は約68兆円※となっています。
（※ 2026年6月末現在、為替換算レート：162.53円／ドル。運用資産総額にはオーバーレイ運用を含みます。）

【ラッセル・インベストメント株式会社】

これまでラッセル・インベストメント グループが世界で提供してきた“マルチ・マネージャー・ファンド”を日本で初めて設定・運用管理し、日本の投資家の皆様にご提供致しております。

・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
・配当込みTOPIXとは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。配当込みTOPIXの指数値及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。
・MSCIコクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ インデックス（除く日本 円換算ベース 配当込み）は、MSCIコクサイ インデックス（除く日本 米ドルベース 配当込み）をもとに、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
・NOMURA－BPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）ならびにFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
（注）各合成ベンチマークの計算にあたっては、三菱UFJアセットマネジメント株式会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
バランス20／40／80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MV20VA ／ 三菱UFJ MV40VA ／ 三菱UFJ MV80VA
（適格機関投資家限定）
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債（これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券（以下、「投資信託証券」といいます。）。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）

1.運用成果

設定日　2000年12月21日

（2026年10月末）

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	475.8%	23.4%	21.5%
ベンチマーク	418.5%	21.7%	20.8%
	過去6カ月	過去3カ月	過去1カ月
ファンド	6.8%	−0.9%	−3.4%
ベンチマーク	7.5%	−0.0%	−3.5%
組入銘柄数		398 銘柄	

株式保有上位10銘柄　（2026年10月末）

銘　柄	業　種	組入比率※1
ソニーグループ	電気機器	4.1%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.0%
オリックス	その他金融業	2.9%
リクルートホールディングス	サービス業	2.8%
東京エレクトロン	電気機器	2.2%
東京海上ホールディングス	保険業	2.2%
信越化学工業	化学	2.0%
セブン＆アイ・ホールディングス	小売業	1.9%
トヨタ自動車	輸送用機器	1.9%
みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.6%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合（投資信託除く）

2.ファンドの内容

上位10業種の配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率　（2026年10月末）

業　種	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
電　気　機　器	20.1%	20.1%	−9.2%
銀　行　業	8.8%	12.0%	−9.7%
情　報　・　通　信　業	7.6%	6.4%	−7.4%
輸　送　用　機　器	6.1%	5.2%	2.9%
サ　ー　ビ　ス　業	5.8%	4.9%	10.0%
化　学	5.7%	4.6%	−0.3%
小　売　業	5.5%	4.0%	5.9%
保　険　業	5.1%	3.8%	4.2%
卸　売　業	4.6%	7.7%	0.9%
建　設　業	4.1%	2.0%	−3.8%

ベンチマーク：TOPIX（配当込み）

TOPIXの指数値および商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、すべての権利はJPXが所有しています。また、これらの情報は信頼のおける情報源から得たものではありますが、JPXはその確実性および完結性に責任を負うものではありません。

外部委託運用会社　※2 キャッシュ・エクイタイゼーション（流動資産の株式化）部分を除きます。

運用会社	運用スタイル	目標配分割合※2
アセットマネジメントOne（投資助言）（注）	グロース型	16.0%
ボリマー・キャピタル・ジャパン（投資助言）（注）	グロース型	17.0%
ウエリントン・マネジメント・カンパニー（投資助言）（注）	バリュー型	25.0%
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ	バリュー型	10.0%
スパークス・アセット・マネジメント（投資助言）（注）	マーケット・オリエンテット型	12.0%
M&Gインベストメンツ（投資助言）（注）	マーケット・オリエンテット型	15.0%
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ	ポートフォリオ特性補強型	5.0%

（注）各運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

3.運用状況

10月の国内株式相場は下落しました（TOPIX（配当込み）は前月末比3.5%下落）。こうした中、ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡの基準価額は前月末比3.4%下落しました。国内株式相場は、前半は、米国株高、円安等を背景に上昇しました。後半は、米国株安となるなか、人工知能（AI）投資の収益性への懸念からAI・半導体関連株等が下落して、最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。Russell/Nomuraグロース指数は前月比4.2%下落、同バリュー指数は3.5%下落し、バリューがグロースを上回りました。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）

1.運用成果

設定日　2000年12月21日

（2026年10月末）

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	827.6%	15.4%	12.6%
ベンチマーク	1026.4%	14.7%	12.2%
	過去6カ月	過去3カ月	過去1カ月
ファンド	5.8%	0.4%	1.0%
ベンチマーク	5.6%	−0.4%	−0.3%
組入銘柄数		532 銘柄	

株式保有上位10銘柄　（2026年10月末）

銘　柄	通貨	組入比率※1
MICROSOFT CORP	USD	3.7%
NVIDIA CORP	USD	2.8%
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	USD	2.7%
AMAZON.COM INC	USD	2.5%
APPLE INC	USD	2.3%
META PLATFORMS INC-CLASS A	USD	2.0%
ASML HOLDING NV	EUR	1.8%
MASTERCARD INC - A	USD	1.8%
ALPHABET INC-CL A	USD	1.7%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	TWD	1.5%

※1 組入比率は株式評価額合計に対する割合（投資信託除く）

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率　（2026年10月末）

地　域	ファンド※2	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
北米地域	77.3%	80.8%	−0.5%
ユーロ地域	9.5%	8.5%	−3.0%
ユーロ除く欧州	6.4%	7.7%	5.0%
その他	6.7%	2.9%	0.7%

※2 組入比率は株式及び先物等の評価額合計に対する割合（投資信託含む）

ベンチマーク：MSCI KOKUSAI（配当込み）

MSCI KOKUSAIインデックスに関する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他、あらゆる形態を用い、インデックスの全部または一部を複製、配付、使用することは禁じられています。またこれらの情報は信頼のおける情報源から得たものでありますが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合※3
バインストーン・アセット・マネジメント（投資助言）（注）	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント（投資助言）（注）	グロース型	12.5%
サンダース・キャピタル（投資助言）（注）	バリュー型	16.5%
ブジーナ・インベストメント・マネジメント（投資助言）（注）	バリュー型	16.5%
ニューメリック・インベスターズ（投資助言）（注）	マーケット・オリエンテット型	18.0%
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ	ポートフォリオ特性補強型	22.0%

※3 キャッシュ・エクイタイゼーション（流動資産の株式化）部分を除きます。

（注）各運用会社の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

3.運用状況

10月の海外株式相場は全体では下落しました（MSCI KOKUSAI（配当込み）は前月末比0.3%下落）。こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡの基準価額は前月末比1.0%上昇しました。海外株式相場は、米国では、月前半は米長期金利の低下や主要企業の好決算への期待を背景に上昇する場面が見られたものの、原油価格の上昇やインフレ懸念の高まり等が上値を抑えました。後半は、好調な企業決算を好感して上昇する局面もありましたが、AI投資の収益性への懸念等から下落して最終的に前月末を下回る水準で月を終えました。欧州では、前半はフランスの財政への懸念等から下落しました。後半は、原油価格の上昇一服や大手企業の好業績等を好感して上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）及びラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）に関するもので、上位10業種の配分、地域別配分、株式保有上位10銘柄、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
バランス20／40／80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MV20VA ／ 三菱UFJ MV40VA ／ 三菱UFJ MV80VA
（適格機関投資家限定）
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債（これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券（以下、「投資信託証券」といいます。）。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

各投資信託証券の運用経過および運用状況

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ（適格機関投資家限定）

1.運用成果

設定日　2002年9月12日

（2026年10月末）

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	6.1%	−4.5%	−3.0%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	11.1%	−5.2%	−3.6%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	−0.6%	0.3%	1.5%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−0.7%	0.5%	1.8%

ベンチマーク：NOMURA-BPI総合指数
NOMURA-BPI 総合指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ &コンサルティング株式会社（以下「NFRC」といいます。）が公表する、国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPI は、NFRCが作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属しています。また、NFRCは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

2.ファンドの内容

種別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率　（2026年10月末）

種　別	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率
国　　債	62.9%	85.1%	1.8%
地　方　債	0.0%	5.8%	1.3%
政　保　債	0.0%	1.2%	1.5%
金　融　債	0.0%	0.3%	0.5%
事　業　債	35.1%	6.3%	1.2%
円　建　外　債	2.0%	0.3%	0.7%
ＭＢＳ／ＡＢＳ	0.0%	1.0%	1.8%
そ　の　他	0.0%	−−	−−

※1 組入比率は債券及び投資信託の評価額合計に対する割合

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
PGIMジャパン	クレジット重視型	50.0%
アセットマネジメントOne	広範囲型	50.0%

3.運用状況

10月の国内債券相場は上昇しました（NOMURA－BPI総合指数は前月末比1.8%上昇）。こうした中、ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢの基準価額は前月末比1.5%上昇しました。国内債券相場は、米長期金利の低下、国内外の株式相場の下落を背景とした投資家のリスク回避姿勢の高まり等を受けて上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ（適格機関投資家限定）
Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

1.運用成果

Aコース

設定日　2002年9月12日

（2026年10月末）

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	23.3%	−3.3%	−2.5%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	25.6%	−2.8%	−2.2%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	−1.3%	−0.8%	1.3%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−1.3%	−0.6%	1.5%

Bコース

設定日　2002年9月12日

（2026年10月末）

ファンド・ベンチマーク騰落率

	設定来	過去1年間	期初来
ファンド	187.1%	1.2%	−0.0%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	187.1%	1.9%	0.6%
	過去6ヵ月	過去3ヵ月	過去1ヵ月
ファンド	−3.1%	−2.9%	1.4%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	−1.0%	−1.9%	1.5%

2.ファンドの内容

地域別配分

組入比率の比較とベンチマーク収益率　（2026年10月末）

地　域	ファンド※1	ベンチマーク	ベンチマーク収益率（ヘッジあり）	ベンチマーク収益率（ヘッジなし）
北米地域	47.2%	46.7%	2.1%	2.6%
ユーロ地域	23.3%	26.7%	0.9%	−0.5%
ユーロ除く欧州	7.3%	7.1%	1.3%	2.2%
その他	22.1%	19.5%	0.9%	1.7%

※1 組入比率は債券及び先物等の評価額合計に対する割合
ベンチマーク：Aコース：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）
Bコース：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。当該インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。当該インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

外部委託運用会社

運用会社	運用スタイル	目標配分割合
コルチェスター・グローバル・インベスターズ	マクロ・バリュー型	30.0%
インサイト・インベストメント・マネジメント インサイト・ノースアメリカ（再委託）（注）	広範囲型	70.0%

（注）インサイト・インベストメント・マネジメントは、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカに再委託します。

3.運用状況

10月の海外債券相場は上昇しました（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は前月末比1.5%上昇）。こうした中、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢの基準価額はAコースで前月末比1.3%の上昇、Bコースで1.4%の上昇となりました。海外債券相場は、米国では米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利が据え置かれるとの見通し、世界的に株式相場が下落して投資家のリスク回避姿勢が強まったこと等から上昇して、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州もフランスの財政懸念や株式相場の下落等を背景にリスク回避姿勢が強まるなか、ドイツ国債等がより安全な資産として選好されたことから上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。

運用成果はラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ（適格機関投資家限定）及び、ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家限定）に関するもので、種別配分、地域別配分、外部委託運用会社、運用状況はラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド及び、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドについての記述です。運用成果は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。ベンチマークの数字は各当該指数の実績を示すものであり、ファンドの実績或いは将来の成果を保証するものではありません。

・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
バランス20／40／80 TM

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ MV20VA ／ 三菱UFJ MV40VA ／ 三菱UFJ MV80VA
（適格機関投資家限定）
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
ラッセル・インベストメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界各国の株式及び公社債（これを主要投資対象とするマザーファンド受益証券を含みます。）を主要投資対象とする証券投資信託の受益権または受益証券（以下、「投資信託証券」といいます。）。主にラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド、ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド、ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式・公社債および円短期金融商品に分散投資し、中長期的に合成ベンチマークを上回る投資成果の獲得をめざします。

三菱UFJ MV20／40／80VA（適格機関投資家限定）の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）の運用は
ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（TOPIX（配当込み））を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

グロース型 ： アセットマネジメントOne（日本）（投資助言）

アセットマネジメントOneは、今後数年で大きな利益成長を遂げると考える企業に投資します。マクロ状況・投資家動向への理解が深く、ボトムアップでの銘柄選択に加えて、ポートフォリオ構築のエッセンスになっています。なお、アセットマネジメントOneの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

グロース型 ： ポリマー・キャピタル・ジャパン（ケイマン）（投資助言）

ポリマーは、運用担当者自身が行う ボトムアップの銘柄リサーチにより、市場平均を上回る本質的な成長を生み出すことができる企業の特定に重点を置き、中小型株の高成長の機会の発掘とともに、大型株も含めたビジネス、産業、市場の循環性の見極め・評価を活かしたポートフォリオ運営を行います。なお、ポリマーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

バリュー型 ： ウエリントン・マネジメント・カンパニー（米国）（投資助言）

ウエリントンは、ボトムアップのファンダメンタルズ分析に基づき、強固なバランスシートと強靭なビジネスを有する企業に投資するとともに、エンゲージメント活動によって強固なバランスシートを活用した経営改善や資本配分の改善を促し株主価値の向上を図ります。なお、ウエリントンの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

バリュー型 ： ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ（米国）

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、低PBR（株価純資産倍率）銘柄を中心としたポートフォリオ（ディープ・バリュー）を構築することにより、ファンドの低PBR特性を補強します。

マーケット・オリエンテッド型 ： スパークス・アセット・マネジメント（日本）（投資助言）

スパークスは、高い技術力やブランドがあり、グローバルでの活躍が今後も期待できる企業に投資します。銘柄を厳選するため、保有銘柄は少数に絞られ、非常に集中したポートフォリオとなります。なお、スパークスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

マーケット・オリエンテッド型 ： M&Gインベストメンツ（米国）（投資助言）

M&Gは、ファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップでの投資対象銘柄の選定を行っており、個々の企業にとって最も重要なKPI（重要業績評価指標）の特定、現在の株価と本来価値とのギャップの要因の特定を重視します。また、シナリオ分析に基づく精度の高い収益予想に注力することによって投資確信度を高めることが可能であるとの投資哲学の下、リスク管理を適切に行いながら、超過収益確信度の高い銘柄群でリスクをとるポートフォリオ構築を志向しています。なお、M&Gの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

ポートフォリオ特性補強型 ： ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ（米国）

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター（バリューやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など）の運用を行います。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ（適格機関投資家限定）の運用は
ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（MSCI KOKUSAI（配当込み））を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

グロース型
バインストーン・アセット・マネジメント（カナダ）（投資助言）

バインストーンは、ROIC（投下資本利益率）やROE（自己資本利益率）、EVA（経済的付加価値）を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、バインストーンの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

グロース型
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント（米国）（投資助言）

モルガン・スタンレーは、ROIC（投下資本利益率）やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

バリュー型
サンダース・キャピタル（米国）（投資助言）

サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

バリュー型
ブジーナ・インベストメント・マネジメント（米国）（投資助言）

ブジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが質の高いボトムアップ・リサーチを行い、収益力・バリュエーションの低下が一時的な要因か構造的な要因かを見極め、一時的な要因が解消した後に収益力・バリュエーションの回復が期待される銘柄に投資することで高い超過収益の獲得を目指します。なお、ブジーナの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

マーケット・オリエンテッド型
ニューメリック・インベスターズ（米国）（投資助言）

ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランス良く的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。なお、ニューメリックの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

ポートフォリオ特性補強型
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ（米国）

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター（バリューやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など）の運用を行います。

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅢ（適格機関投資家限定）の運用は
ファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

クレジット重視型

PGIMジャパン（日本）

PGIMはその豊富なクレジット調査機能を生かしたクレジット戦略に優れており、金利戦略とともに比較的高めのクレジット・リスクをとります。非常に豊富な人的リソースと確立された運用プロセスを有しており、同社グループの海外のリソース及びインフラを利用できることも強みの一つです。

広範囲型

アセットマネジメントOne（日本）

アセットマネジメントOneは金利、クレジット/セクターの両戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分では、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース（為替ヘッジあり）/ Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家限定）

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅢ Aコース（為替ヘッジあり）/
Bコース（為替ヘッジなし）（適格機関投資家限定）の運用はファミリーファンド方式で行い、
下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース））を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

ベビーファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。
Aコース（為替ヘッジあり）：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）
Bコース（為替ヘッジなし）：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
Aコースは原則として為替ヘッジ（運用会社：ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。

マクロ・バリュー型

コルチェスター・グローバル・インベスターズ（英国）

コルチェスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安感の強い国の債券および通貨を発掘するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを予測する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することにより国別および通貨別の配分が決定されます。

広範囲型

インサイト・インベストメント・マネジメント（英国）／インサイト・ノースアメリカ（米国）（再委託）

インサイトは、特定の戦略に偏ることなく、国別配分、種別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった、あらゆる超過収益源泉をカバーし、市場環境の変化に合わせて柔軟に投資する運用能力を有しています。なお、インサイト・インベストメント・マネジメント（英国）は、運用の指図にかかる権限の一部をインサイト・ノースアメリカ（米国）に再委託します。

・三菱UFJ MV20VA／MV40VA／MV80VAの主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。
・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。
・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
・各ファンドの運用会社構成は、ラッセル・インベストメント・グループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更される事があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネー MA

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱 MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
国内外の公社債、コマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。

運　用　方　針
主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

■ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	1,387,485,796	2.8%
（うち固定債）	(1,387,485,796)	2.8%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	48,942,128,075	97.8%
（うちコールローン）	(23,054,000,000)	46.1%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(25,888,128,075)	51.7%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	−298,242,329	−0.6%
純資産総額	50,031,371,542	100.0%

・公社債は、国債、地方債券、特殊債証券を除く。
・固定債：変動利付債以外の債券。
・CD等は、CD、コールローン（国債等を担保とする有担保コールを除く）、指定金銭信託等。
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。

■ファンド概況

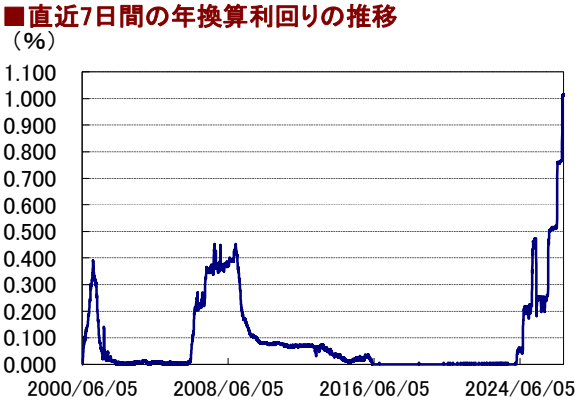
基準価額（1万口当たり）	10,000円
純資産総額	500.31億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.4日
組入銘柄数	7

・組入銘柄数は一部買現先を含みます。

■直近7日間の年換算利回りの推移



■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 7銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第1401回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	49.2%
2	第1398回国庫短期証券	国債	0.0000%	—	2.6%
3	第1397回国庫短期証券	国債	0.0000%	2026/11/02	0.7%
4	第1410回国庫短期証券	国債	0.0000%	2027/01/12	0.6%
5	第1413回国庫短期証券	国債	0.0000%	2027/01/25	0.6%
6	第1406回国庫短期証券	国債	0.0000%	2026/12/14	0.5%
7	第1412回国庫短期証券	国債	0.0000%	2027/01/18	0.4%
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

■債券種別比率

種別	比率
国債	54.5%

・組入上位10銘柄、債券種別比率は一部買現先を含みます。償還日「－」の銘柄は現先取引分です。
・同一銘柄の債券現物と現先が混在する場合、合算して表示し、償還日は現物の償還日を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。